

第八回技術研修・見学会報告書

「こまつの杜研修・見学会」

世界で活躍する最先端の建設機器メーカーであるコマツ（株式会社 小松製作所）様が“「人」と「技術」を未来へ”をテーマとして、2011年5月13日に「こまつの杜」が誕生しました。特に、里山での自然観察、わくわくコマツ館での理科・ものづくり教室、など小学校向け社会科見学などを通して、地域の子どもの健全な育成と自然環境の保全を目的とすると同時に、コマツOBボランティアによる運営などによる人を中心とした貢献活動の一環でもあり、技術力以外の側面も垣間見ることができました。

開催日時 2017年4月21日（金）

14:15～15:30

参加人員 11名

開催場所： こまつの杜（JR西日本北陸本線小松駅徒歩1分）



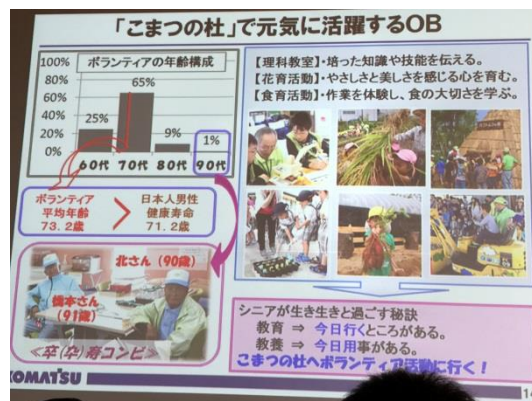
コマツ本社棟の再現（左）と研修等（右）



こまつの杜入口に設置された930E



道内館長によるプレゼンテーション



こまつの杜はOBによる活性化に成功



建機のあゆみの概説



創業者の竹内明太郎は1917年1月、小松駅近傍に小松鉄工所を開設したのが始まりであり、建機では日本ではトップ、世界第二位のメーカーです。世界の建機トップ企業は、誰もがよく知っているあのアメリカキャタピラー社です。コマツでは、ライバル社の名称である、キャタピラーという呼び方をせず、履板（りはん・りばん）と呼ぶそうです。

2008年からカンボジアにおいて、建設機会技術を活かし、対人地雷の除去機を導入するなどのボランティア活動を実施しています。



対人地雷除去機の展示



地雷の模型（実寸大）



遊星歯車の体験ができる



活躍する建機のジオラマ



世界最大級の超大型ダンプトラック930E



圧巻の大きさに圧倒されました

1997年以降世界に先駆けてIT化を推進したコマツでは、現在約40万台の建機がGPS等で遠隔管理されており、大型ダンプは約1,000台、その内150台がこの930Eで24時間稼働しています。930Eはディーゼルエンジンで発電機を動かし、電気力で後輪内部の電気モーターを起動し、最大時速64.5km、開発当初の総重量が930,000ポンドで電気で走ることから、930Eと命名されました。その大きさだけでなくスペックは、驚愕に値するものでした。

スペック：

- ・最大積載量 297トン
- ・車体重量 202トン
- ・全長 15.32m
- ・全幅 8.69m
- ・全高 7.32m
- ・タイヤ直径 3.83m
- ・タイヤ重量 4.8トン
- ・最高走行速度 64.5 km/h

エンジン：

- ・製造 コマツカミinz製（イギリス）
- ・馬力 2,700HP
- ・総排気量 60,000cc
- ・シリンダ数 16気筒
- ・燃料 軽油
- ・容量 4,542リットル
（ドラム缶22.5本分）



人のサイズはタイヤの半分程度



建設機器の歴史と、最先端の取り組みなど大変参考になりました。業種が多少異なりますが、基礎となる技術力、品質の高さが世界でも広く評価されていることがよく理解できました。

また、ものづくりだけでなく、人の育成や活躍できる場を提供されているコマツの取り組みに感銘を受けて、研修を終了しました。

ご説明をいただきました、道内館長を始めスタッフの皆さま、またご参加いただきました、JAAMA会員の皆さまありがとうございました。